



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知保険医会館内
TEL ; (052) 832-1349
FAX ; (052) 834-3584

「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」 一昨年上回る集約！ 目標までは更なる集約を

10月11日現在の署名集約状況
より良い連絡会28,372筆

(一昨年10月末25,580筆)

目標達成率 47.28%

○連絡会	161筆
○民医連	6,404筆
○保険医協会	21,807筆



「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」は10月11日現在、28,372筆、目標達成率47.28%となりました。一昨年の同時期を上回っていますが、残る1カ月、これまでお願いをした個人・団体からの署名の回収に力を入れることが重要です。目標達成には、更なる上乘せのお願いも必要です。最後の最後まで、集約の努力をお願いします。

12月16日(木)に「歯科総行動集会」が東京の国会議員会館で行われます。集会では国会議員の挨拶、基調報告、各地からの発言、アピール提案などが行われる予定です。コロナ感染状況によっては11月中旬に厚労省や中医協、国会議員に要請などを行い、署名の提出はその後、通常国会の始まる1月からとなる予定です。

＜最後の訴え＞

- ①手元にある署名は早めに集約を
- ②お願いをした団体や個人からの回収を急ぎましょう
- ③まだ声掛けをしていない友人知人がいないか、もう一度振り返ってみましょう

歯科総行動集会 12月16日(木)

国会の議員会館で開催します。

いまからご参加ご予約下さい。手持ちの署名がある場合は早めに提出して下さい。

※当初予定していた11月11日は総選挙の関係で日程変更されました。



イイハデー 街頭宣伝

とき 11月3日(水・祝)
AM10:30~11:30
ところ 三越前(中区栄) (予定)

連絡会では「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」への協力を市民に呼びかける街頭宣伝を行います。歯科医療関係者みんなで、患者窓口負担軽減、保険給付範囲の拡大、歯科医療費増額の必要性を訴えましょう。

昨年好評だったシール投票では歯科への定期的な受診が感染予防に繋がることを、上手に訴える内容にしようと計画しています。また、スペースが確保できれば、歯科医師による歯の健康相談などのコーナーも設けますので、皆さん誘い合ってご参加下さい。



歯のなんでも電話相談

10月8日イレバデーに実施

10月8日は語呂合わせて「イレバデー」にちなみ、愛知連絡会では、10月8日（金）午後、「歯のなんでも電話相談」を開催しました。愛知県保険医協会に電話3台を設置し、江原会長など3人の歯科医師が市民からの相談に応じました。

愛知県を中心に東海三県から合計23件の相談が寄せられました。コロナ禍で通院から遠ざかっている方や外出をためらっている方からの相談も多く、「5年前に直した歯が時々痛む」

「痛い歯があるが抜歯するしかないのか？インプラントはどうなのか？」「一本だけの義歯が痛くて長く入れていられない」などむし歯の治療や入れ歯に関する日頃の悩みが多く、具体的な治療法や対処法を丁寧に答えました。



保険でより良い歯科医療の実現を国に求める 自治体からの意見書提出の要請

愛知連絡会で取り組んでいる「保険でより良い歯科医療の実現を求める」地方自治体から国への意見書提出を要請する働き掛けは、田原市に9月議会に提出をし、継続審議となりました。田原市では地元の保険医協会の医師・歯科医師に請願者となっただき、紹介いただいた市会議員の協力を得て提出しました。

議会からは請願趣旨の内

容について「受診控えによる重症化の事例を掘んでいるか」「治療費の負担の問題で受診を断念している事例があるか」「歯科矯正を保険適用とする診断基準は」など、質問が寄せられています。議員自身が議論を深め、12月議会で採決が諮られることになっています。

災害時持ち出し備品に 「口腔ケア用品」を 自治体への要請に取り組みます

近年、気候変動などに伴う豪雨災害など、大規模な災害が頻発するようになっていきます。そのため、避難所での生活を余儀なくされる事態が生じています。その際、非常持ち出し品に口腔ケア用品を備えておられる方は、どのくらいお見えでしょうか。

昨年5月の愛知連絡会の総会で記念講演をされた足立了平先生（兵庫県三木市・ときわ病院歯科口腔外科部長）のお話しでは「災害関連死は肺炎などの呼吸器疾患が多く、高齢者にとって口腔ケアは命を守るケアである」と、口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防に効果があり、避難所などでの口腔ケアが特に高齢者の命を守るためには必要だと訴えられました。

ところが避難所などでは

水の使用も制限され、日常的な口腔ケアが困難になります。ましてや、歯ブラシや歯みがきシートなどの備品がなければ、全く手の施しようがありません。

ホームページなどで調べたところ、愛知県内の自治体で住民に呼びかけている「非常持ち出し品」に口腔ケア用品や洗面具などの記載が全くない自治体が16

（29.6%）ありました。また、自治体の避難所の備蓄品に口腔ケア用品があった自治体は15（27.8%）自治体でした。

連絡会では、住民向けの持ち出し品リストや避難所の備蓄品に歯ブラシや歯みがきシートなどの口腔ケア用品を明記するように、自治体への働き掛けに取り組もうと考えています。

市民アンケートを実施しています

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会では、患者さんの「コロナ禍」での歯科治療についての認識や、安心して歯科治療を受けるために何を求めているのかを把握するために、患者さんを対象に、「歯科医療改善のための市民アンケート」を行っています。アンケート結果は、12月16日の「歯科総行動」や議員要請、省庁要請等で活用していきます。

右下の二次元バーコードでアクセスして、答えることができますので、ぜひご協力ください。

